

「新型コロナウイルス緊急事態宣言解除」に伴う
(公社)日本シェアリングネイチャー協会活動指針及び
シェアリングネイチャー組織・会員の皆様へのお願い

新型コロナウイルス感染拡大防止に向けて、地域組織の皆さまにはご協力・ご検討いただきありがとうございます。4月22日に6月末までの活動指針を提示しご協力のお願いをしておりましたが、5月25日に全国的に緊急事態宣言が解除されたことを受け、今後のシェアリングネイチャー活動の方針について、安全対策委員会とも協議し、組織や会員の皆様へのお願いを作成しました。

※本活動指針・お願いは、その役割を終えるまで継続します。なお、状況の変化にあわせて、変更修正します。

1) 日本協会の活動指針

この春、たくさんの方が外出を自粛し、限られた空間の中で、制限された暮らしをしてきました。予定していたシェアリングネイチャーの講座、セミナー、イベントについても万全の準備をしていただきましたが、感染拡大防止のため止むなく中止判断をしてきました。関係者の皆様にはご理解ご協力をいただき、感謝申し上げます。

ネイチャーゲームをはじめとするシェアリングネイチャー活動は自然をともにわかちあう活動であり、人と自然とのつながりに気づき、ホッとするひと時をくれます。この間には会員有志から声があがり、小学校の休校が発表されてすぐの3月2日に「身近な自然とのふれあい」を呼びかける「ハッピーラッキーネイチャープロジェクト」がスタート。たくさんの方が本プロジェクトに参加し、写真や動画、心温まるメッセージを、SNSを使って発信してくださっています。

ネイチャーゲームは170以上のアクティビティを活かし、「いつでもどこでも」楽しむことができます。「感染症予防」という観点からも、この特徴を活かし、「with コロナ」においても、自然とのふれあいを楽しむことが可能です。また、外出自粛で人との接触や会話が減り、見えないウイルスからの感染に怯える日々を過ごすうちに心を病んでしまった方もいますが、そんなときにシェアリングネイチャーの活動で救われた方もたくさんいます。過度の心配や畏れでざわついていた心に、元気と勇気と生きる力を与え、今ここにいることの幸せを感じることができる、その手助けをしてくれるのがシェアリングネイチャーなのです。

公益社団法人日本シェアリングネイチャー協会では、「新型コロナウイルス基本的対処方針」を遵守し「新型コロナウイルスの感染防止」を念頭に置きながら、全国のネイチャーゲーム指導員・シェアリングネイチャー組織の協力のもと、このネイチャーゲームの特性を活かし、参加

者はもちろん、講師、スタッフが、「安心できる自然体験プログラム」を提供していきます。ただし、より安全・安心に活動を行うために、以下のガイドライン・開催の場合の条件・手順を設けます。

2) 日本協会主催行事について【開催のためのガイドライン】

国の新型コロナウイルス感染症対策本部の「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」および、都道府県(または市区町村)の発表するガイドラインに則り、感染防止対策を講じながら段階的に活動再開を目指す

※ただし国及び都道府県より「緊急事態宣言」が再度出た場合は即刻中止とする。

<感染防止対策>

※詳細は 4)開催する際の開催条件・手順 を参照

- 1) 講座中の活動およびその他の時間における「感染リスク」対策
- 2) 講座開催に伴う人の移動による「感染リスク」対策

<段階的な活動再開の「移行期間」と対応>

※合わせて都道府県(または市区町村)の発表するガイドラインを準拠すること

イベント開催制限の段階的緩和の目安			講座名等			講師派遣
基準となる日	外出・観光	イベント	リ ダー 養成 成	FS 等 会 員 向 け 講 座	入 門 講 座 ・ 地 域 実 践 活 動 等	
移行期間	5/25 ～	・都道府県をまたぐ 不要不急の移動 を避ける	・屋内:100人以下かつ定員の50%以内 ・屋外:200人以下。十分な間隔(できれば2m)	・参加者を開催地のある都道府県内に限定する ・感染予防をはかる(4参照)	・都道府県をまたぐ講師派遣をしない	
	6/1～	・北海道、千葉、埼玉、東京、神奈川との間の不要不急の移動は慎重に	・全国的な人の移動を伴う規模のイベントは避ける ・規模に関わらず「三つの密」を避ける	・左記の4道県は移動させない ・感染予防をはかる(4参照)	・左記の5都道府県から他府県への講師派遣をしない	
	6/19 ～	・都道府県をまたぐ観光振興に取り組む	・屋内:1000人以下かつ定員の50%以内 ・屋外:1000人以下。十分な間隔(できれば2m) ・規模に関わらず「三つの密」を避ける	・感染予防をはかる(4参照)	・制限なしとするが、各自感染予防をはかる	
	7/10 ～		・屋内:5000人以下かつ定員の50%以内 ・屋外:5000人以下(できれば2m)			
移行期間後	8/1～	感染状況を見つつ ・屋内:定員の50%以内 ・屋外:十分な間隔(できれば2m)	7/10～の対応を継続または国及び都道府県の方針に合わせて対応を再検討します する			

※出前開催・課程認定校等養成講座については主催者判断とする

※ただし国及び都道府県より「緊急事態宣言」が再度出た場合は即刻中止とする

3)シェアリングネイチャー組織・会員の皆様へのお願い

日本協会の活動方針、開催のためのガイドラインに沿って段階的に活動を再開してください。
開催にあたっては「4)開催する際の開催条件・手順」を参照してください。

4)開催する際の開催条件・手順

【開催条件】 右記を遵守する	<ul style="list-style-type: none">・閉鎖空間を避け、感染リスクが高まる環境での実施を避ける・不特定多数の出入りや、移動制限の出ている地域からの出入りを控える・体調不良の方への参加の自粛を要請する
【参加の手順】 より安心して参加いただくために、参加者に促す・伝えること。 ※その他地域のガイドラインに合わせて作成ください。	<ul style="list-style-type: none">・参加者へ、咳エチケットや頻繁な適切な手洗いなど感染対策をよびかける。・参加者へ、マスクの着用を促す。・体調に不安がある場合、発熱や咳などの風邪症状がある場合の参加は自粛いただく。また参加2週間前より毎日の検温を依頼する。・当日、会場等で検温をさせていただく場合があることを伝える・会場に設置のアルコール消毒液の利用を薦める。 (研修施設・宿泊施設等においては施設管理者に相談する)・申し込み後の感染拡大等によっては、開催中止の場合があることを伝える・感染予防対策として、講師、スタッフもマスク着用する場合があることを伝える・開催時、最終的な参加判断を各自にさせていただく(感染症対策を講じるが感染リスクをゼロにすることはできないことを伝え、事前に了解をいただく)・熱中症対策を講じる<ul style="list-style-type: none">➢ 水分・塩分補給及び帽子を着用する➢ 自粛期間が長いため、暑さに慣れていないことが考えられることから睡眠や食事を十分にとり、免疫力を高め、無理をしない など
【運営の手順】 より安心して運営するために。 ※その他地域のガイドラインに合わせて作成ください。	<ul style="list-style-type: none">・マスクの着用、咳エチケットや頻繁な手洗いなど感染対策をする。・体調に不安がある場合、風邪の症状や発熱などのコロナウイルス感染症状がある場合の参加は自粛する。また、実施2週間前より毎日検温する。・必要に応じて、参加者の検温を行う。・安全対策マニュアルを準備し、緊急時に備える。 (例)当日急に中止、参加者へ活動中止を依頼する、人権配慮などについて事前にシミュレーションを行う。・熱中症対策を講じる<ul style="list-style-type: none">➢ スタッフも参加者と同様の対策をとる➢ 熱中症指数を確認し、開催の判断を行い、救急用品を準備する。・終了後2週間を目安に参加者の体調把握につとめる

5)その他

- ・コロナへの感染は疾病扱いとなりますので傷害保険の適用外となります。
- ・コロナに関連する事故やトラブルが発生したら、速やかに日本協会まで報告をお願いします。
- ・最新の感染対策や地域の情報もキャッチして各種の判断や対応をお願いします。

・当日の体調不良により参加自粛の場合、キャンセル料を不要とすることを申込時に参加者に伝えてください。

6) 参考資料

・新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針(厚生労働省)

<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000633501.pdf>

・イベント開催制限の段階的緩和の目安(その1)

・イベント開催制限の段階的緩和の目安(その2)

・外出自粛の段階的緩和の目安

下記の資料 6-1

https://corona.go.jp/expert-meeting/pdf/sidai_r020525.pdf

・その他参考

日本環境教育フォーラム(JEEF) <https://www.jeef.or.jp/2020/05/30390/>

山岳医療救助機構 <https://sangakui.jp/information/post-1698/>

【お問い合わせ】

・コロナに関連しての相談等は jimukyoku@naturegame.or.jp までお願いします。